

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター あすなる学園		
○保護者評価実施期間	令和7年2月5日		～ 令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの発達状況に応じた集団活動と個別活動を取り入れている。	・専門職職員(言語聴覚士、作業療法士、小児科医)と定期的にケース検討会議を実施しており、職員と共に児童への関りや課題を共通理解し支援している。	・専門職職員による個別課題遊びの内容を日常のクラスでの集団・グループ活動に取り入れていく。
2	・園庭が芝生、広い。	・遊具設定を工夫したサーキットを作ったり、乗物遊び(自転車やスライダー、そりなど)も安全に配慮しながら取り入れている。季節の活動、夏は大型プールを2個設置し水遊び、秋は柿もぎ、冬は雪が積もればそり遊びなどの園庭遊びの充実を図っている。	・行事も含め、様々な親子遊びやクラス遊びの充実を図っていく。
3	・定期的に親子通園がある(月3～4回程度)	・親子通園日は、普段できない感触遊びや園外活動を取り入れている。また、親子で向き合いながら楽しめるグループ遊びを行っている。	・親子通園時には親子で達成感を共有できるようなプログラムの工夫をしていく。また、父母教室や懇談会、父親が積極的に参加できるような企画など、家族支援の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の環境面での課題が多い。(児童トイレや支援室の数が不足、老朽化している)	・施設開設47年が経過しており、老朽化が進んでいる。児童が安全に活動できるよう、不具合が生じた場合、随時修繕を行っている。	・施設更新委員会を設置し、施設立て替えに向けて検討している。
2	・人材が定着しない	・人材定着のための総合的な方針が不十分である。	・人材定着しない現状を分析し方針を立てていく。また、職員が働く上での悩みや困り感など相談できる体制を図っていく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人戸田康福祉会 あすなる学園

公表日：2025年3月26日

利用児童数：39名

回収数：25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	24	1			・もっと広いと、なお良いけど充分 ・園庭が広く遊びやすいと思う		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	4	8		・子供が高いところから落ちたりしてるのを、親子通園のときたびた び目にします。先生はもったいないと、いつか大ケガする ・時折、もう一人先生がいてくれた方が安全かなと思う場面がありま す。外遊びのときなど。 ・職員の皆様は最善を尽くされていることは十分に伝わっているの ですが、クラスの担任の先生の人数が少ないように存じます。 ・職員の皆様のご負担が少しでも軽減されてほしいという願いから、 ぜひ常に担任の先生の人数は確保できるような体制を、自治体の方で 積極的に検討して頂ければと存じます。 ・今年度はクラスによっては常勤の担任が誰もいない日が多くあった ように感じました。 ・安全面で心配になる事はあったが、大きなケガには繋がっていない ・年度当初からは減ってしまったので	・職員の配置基準は遵守しています。産休等により欠 員が生じ際は、非常勤職員を補充し対応しています。 児童の支援に支障がないよう、今後も療育の質を保ち ながら適正な人員配置を行います。 ・安全面に関しては、今後も職員間で連携し、声を掛 け合いながら、子どものけが等を未然に防ぐよう努め ます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	20	4	1		・いつも掃除をしてくれていてキレイですが、とにかく50年経った 建物なので、トイレが狭い、教室のカギが開かないとあります ・お教室の床が冬場は少し寒い	・児童が使用する場所・玩具等の掃除と消毒は徹底して います。老朽化部分については、随時修繕にて対応し ます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	21	3	1		・子供にはとても向き合ってもらってます ・個別STが勉強になったので、今後も継続して欲しいです。一年に一 回よりも回数が増えたと更に嬉しいです。 ・こどもたちが安心して楽しんで活動する様子が多く見られるので、 特性に応じた支援をしていると感じる	・嘱託職員として、言語聴覚士、作業療法士、小児科 医がいます。保護者の相談等にも随時対応していき ます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1		1			
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支 援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	24	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容 からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	21	1		3		・ガイドラインの内容については「あすなる学園 し おり」を通じて、新年度の開始の会で説明しており ます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	23	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	20	2	2	1	・三輪車や、キックボードで遊んでほしいのに、いまいるクラスで は、なかなかやらなくて、残念。子供の特性でやることを変えるのは やめてほしい。やりたいし、できるから、やらせてほしい。	・子どもの発達や障害特性、興味関心に合わせた活動 を工夫してきます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その 他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	11	4	・他の施設の子供とは絡んだこと無い。絡みたい	・コロナ禍以前にあった保育園交流を、今後再開でき るよう検討します。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありました か。	22	1	1	1	・説明はあったけど、最初にサラッと。でも書面もあるし、充分か な？	・入園の説明会で伝えていますが、保護者が分から ないこと等がある場合、丁寧に対応していきます。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説 明がなされましたか。	24	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修 会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2	2	2	・これは無いような。	・学園全体での父母教室や、クラスの特性や保護者の ニーズに合わせて懇談会等を実施しています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども の健康や発達の状況について共通理解ができている と思いますか。	21	3	1		・先生からの報告はあまりない。聞きたい場合は連絡してほしいと言 われている。会ったときに、教えてくれたり。 ・課題は面談以外で聞かれる機会はありませんが、出来るよう になったことはよく教えてくださります。また、連絡帳をよく読んで くださっているように感じています。	・親子通園や児童の送迎時、必要に応じて面談など を通して子どもの様子を伝えたり、保護者の思いを傾聴し ていきます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行 われていますか。	23	1	1		・年に2回の面談？	・面談は基本年2回としていますが、必要に応じて随 時対応していきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24		1		・いつも、良くしてもらってます。他のクラスの先生がコワイときがあるので、もう少しこちらに、興味を持ってほしい。無理かな？自分のクラスで精一杯かな？	・そのような気持ちにさせてしまい申し訳ございません。職員一同、クラスの垣根なく児童全員に楽しい毎日を過ごしてほしいと思っています。今後の職員の教育を再度徹底します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	5	2	2	・きょうだい同士の交流なんて、見たこと無い。保護者同士の交流も、親子通園くらいで、ほぼ無い。保護者会も、ほぼ集まりがない。 ・兄弟への支援はあまりないと思う	・きょうだいへの支援に関しては、保護者から話された時に個別に相談に応じています。 ・今後、行事等でのきょうだい参加を検討します。 ・保護者等の交流に関しては、父母教室を通して先輩保護者との繋がる機会を設けたり、親子通園等を介して、保護者同士が思いを共有できるよう今後も工夫していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	1			・保護者から相談の申し入れがある場合、迅速に対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23		1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2	1			・子ども一人一人の注意すべき行動や考えられる行動について、職員間で共有し安全に子どもたちが過ごせるよう対応していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1				・火災訓練、地震訓練、洪水訓練等、定期的に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3	1		・子供が血を流していて、親子通園で親がいたのに、親への報告が帰宅時だったのは驚いた。もっと早く言うべきでは。 ・誰がどんな遊具でどんな怪我をしているかわからないです。	・けが等について、保護者への周知を迅速に対応していきます。また、ケガにいった経緯や今後の対応についても丁寧に伝えていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	3				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	4		1	・毎日楽しく通園している	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1	1		・支援には満足していますが、もう少し親の出番が減るといいと思います。一部参加希望制にするなど。行事も先生の負担が大きいなどがあれば、行事を減らしてもいいと思います。	・親子通園の頻度や時間等は、その都度相談に応じていただきます。

	公	事業所における自己評価結果
--	---	---------------

事業所名	社会福祉法人戸田康福社会 あすなろ学園
------	---------------------

公表日：2025年3月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースが不足しています。廊下を一部屋としてカウントして使用していますが、床の冷たさや薄暗さからしても、児童が豊かに遊ぶスペースとしては好ましくないと感じます。 ・今の時点でギリギリだと思う。クラスにより活動場所をかえながらの活動は工夫されていると思う。 ・支援室のスペースは適切であると思うが、トイレの数が増えるともっと良いと思う。 ・子供用のトイレ数が足りない。 ・クラス同士が連携を取り合い、廊下もうまく活用しながらスペースを確保している所が、今ある場所を工夫していると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童個々の状況に合わせ支援していくには、部屋数やトイレ等、環境面での改善は大きな課題となっている。数が少ない部屋やトイレを時間を分けたり、別の場所を利用するなど調整利用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	10	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿ったプログラムを行うこと、集団への参加で発生するトラブルに丁寧に対応し、個々の児童への配慮をしていくには、人員不足は課題です。養育環境も変化する中で、重度域の児童から、軽度域の児童まで、配慮の質の違う児童の受け皿となるため、配置人数も今後の検討課題となります。 ・子供の障害の状態により個別対応が必要な場面があり、そういった場面で支援が手薄になりやすい。 ・子どもの状態等に対して、職員の配置数が適切であるともっと良いと思う。 ・非常勤職員がこども的人数的には足りていると思うが、任せられること、任せられないことがあるため、仕事の割り振りが難しい。正規職員の人数が安定することが必要。 ・育児休暇や病気休暇の職員がいることから、非常勤職員を多く補充して助かっている。 ・クラス職員だけでなく、学園全体でカバーしている所が素敵だなと感じます。臨時職員は配慮して頂いていると感じますが、正規職員に負担がある事もある様にも感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置基準は遵守しています。そのうえで、プログラムに沿った活動や児童の安全が確保出来るように、適正な配置人数を随時確認し、不足となる際は補充にて対応します。 ・従業員の定着に向けて、メンタルヘルス対策や魅力的な職場環境を作っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・段差や破損部分が多く、バリアフリーとは言えないと感じます。 ・アスレチックなど毎回違う構造にして工夫している。揺れる遊具など、見守る大人側が安全に注意しているが、子供の乗り方が危険な時、見守る側も危険を感じる。お互いに安全に利用できるような遊具の設置になるといい。 ・設備等はバリアフリーで安心安全であり、環境上の配慮も適切であると思う。 ・玄関や門扉前の板が急であり、危険である。 ・視覚的手掛かりや無駄な物は置かないという点では構造化されていると思う。トイレ、手洗い場等は広さ、使いやすさ、安全面という点で改善の余地あり。 ・施設が必要だが、施設が古いので鍵のかかりが弱い部分があり勤務中に時間をとられることがある。 ・今はなかなかないひねる水道を残している所は素敵だなと思います。子ども用のトイレの数の少なさが、子どものやる気を考えるとどうなのかなと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用トイレの数など設備等での改善は課題である。 ・遊具設定時は安全面を確認しながら設置している。また、職員の配置など、声を掛け合いながら安全に遊べるよう心掛けていく。 ・玄関や門扉前の板が急であり、危険であるため、安全管理を徹底(自転車利用の保護者には、降りるようルール化するなど)している。 ・老朽化による不具合や修繕個
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の使用するトイレが2部屋で1箇所のみであることが、保護者から指摘されることが多いです。児童が行きたい時間が重なりと混雑し、別部屋のトイレを使用するために職員も移動する必要があり、安全掌握上の危険度が増加します。中身が見えて児童が椅子に乘れば手が届く棚については、災害対策としても不安が大きいです。また、雨漏り対策として高い位置にバケツを置いている点も危険です。業者の方へ相談済みであり、他の方法がないためやむを得ないとのことですが、児童の安全を考えると、1日でも早く他の対処方法への変更が望ましいと思う。 ・生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思う。又、常に子ども達に合わせた空間作りを心掛けていると思う。 ・清掃は徹底しているが、古さ故の汚れ等は否めない。 ・児童用トイレが2つ(隣合う教室に1つ)しか無いため、もう少し広い方がいい。個室を数個設置する・男児用の立ち便器の設置・オムツ替えをする場所など。 水道も教室には無いため、トイレの中に数個設置して欲しい。 ・清掃を徹底している ・正規の先生方が、事前に使う玩具をすぐ取れる所に持って来ておく所に工夫を感じます。清潔面と言うと、正規職員が掃除して頂いている時間を書類等の時間に充てられないのかなと感じる事はあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童降園後に、職員による丁寧に清掃及び消毒を行っている。また、清掃員についても業務委託により対応してもらっています。 ・園舎の全面清掃、床面のワックス掛けを年2回実施している。 ・教室内の児童トイレの数は不足と認識し、環境面での改善は課題ですが、建物の構造上、設置基準等で対応しきれない部分もある。保護者様や職員の意見を反映できるよう今後検討していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態に合わせて、部屋や場所を考え、使用していると思う。 ・教室の中でパーテーション等で区切り、個別空間があるとよい ・補助室はあるが数が少ないため、職員間で話し合い使用する時間などを相談して、使っている。数があれば、急に使いたい時など臨機応変に使えると考える。 ・急遽、担任が保護者対応している時に、他の担任が保育環境を変えたり、クラス担任外が補助に入ってくさったり、学園全体で見ている感じが素敵だと感じます。 	
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善についての意見を広く聞くための会議、機会はありますが、それについての職員へのフィードバックが課題となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善策を職員に周知していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向に寄り添う姿勢を、意識して保護者が言いにくい願いや要求を出しやすい雰囲気を作っていくことが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会活動の中で、保護者の要望や意見等を集約する場であることを周知し、そのような機会に役職職員が参加し保護者の声を聞いていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を伝えても適切なフィードバックの方法を工夫していく必要があります。 ・職員の意見や考えを聞いて下さる機会を、常に設けて頂いていると思う。 ・聞き取りは行っているが、その後の対応が不明慮 ・会議、個別、職員の面接で意見は述べられる。全てではないが業務の改善もできている部分はある。 ・臨時職員にも、行事内容を事前に知らせてくださったり、終了後に感想を聞いてくださる所が素敵だと思います。 	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受講する機会を設けて下さっていると思う。 ・年に数回、職員室全体で研修をする他、個人で研修を受けている。 ・研修をしている 	・支援の質的向上のため、療育の専門性を高めることは今後も課題である。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		・細かい個々の書類にいろいろな工夫を感じます。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	1	・細かい個々の書類にいろいろな工夫を感じます。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	2		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤の先生方に対して計画に沿った内容を共有するだけの、時間的な余裕がありません。また共有をしたとしても、安全の掌握だけで手一杯になり、計画に沿った支援を実行出来ないことに課題を感じます。 ・細かい個々の書類を読ませて頂いたり、話をして頂き、個々にとっての細かい計画を感じます。 	計画に沿った運営ができているかを指導会議にて確認する。また、非常勤職員のための会議を設け、情報共有を図る。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2	・細かい個々の書類にいろいろな工夫を感じます。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	1	・細かい個々の書類にいろいろな工夫を感じます。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	1	・日々いろいろな活動を取り入れ、臨時職員にも共有して下さっています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14		・リズムに参加する子をその都度変えたり個々の発達に合わせていたり、出す玩具を変えたり工夫を感じます。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、職員間で打ち合わせを行い、支援の内容や役割分担について確認し、連携して支援ができていると思う。 ・ホワイトボードを用いて職員間で共有しやすくくださったり、小さな疑問にも丁寧に伝えてくださって助かっています。 	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず職員間で共有し、今後の支援に生かせるようにしている。 ・小さな疑問にも、丁寧に伝えてくださってさたりしています。 	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	2		
24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14		・臨時職員も会議に参加させて頂いている事で勉強になります。また、それだけでなく、時差出勤の配慮もして頂き助かっています。		
25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1			
26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	2	・頻繁ではないが、必要に応じて取っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1		
	(28～30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	3	・他の児童発達支援センターとの連携は、主に役職職員のみで行われている印象があります。現場の職員レベルで体験や見学をし合うことで、知識や能力の向上を目指すことが望ましいと思います。	子ども連絡会や自立支援子ども部会などを開催し情報共有や連携に努めてきた。今後も連携を図り、現場職員も会議に参加できる体制を整えていく。
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	13	1	・STやOTの先生等、様々な先生がいらっやっている印象があります。	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13	1		
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	9		
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14		・正規職員が保護者の方と密に話しているので、臨時職員の立場からも、日常の姿などもっとお伝えしていきたいと思います。		
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	4			
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	2		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	1	・面談だけでなく、日常で保護者対応を丁寧にしている印象があります。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	2	・時には、園外保育の後、担任が子どもたちと園庭に行き、保護者同士の時間を設けてあげる配慮に素敵だと感じます。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	1		
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	2		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	1	・個人名記載のものが、裏紙入れに入っていたり、保管場所の鍵の施錠を忘れていたことがある	・「業務要綱、業務マニュアル」等で個人情報について留意事項を明確にしている。個人ファイルの持ち出し禁止や、鍵の施錠を徹底していく。
43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	1	・自分もグレーゾーンの子どもを持つ身として、気を使われない程度に配慮する事を心がけています。		
44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	6			
非	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	2		
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1	・定期的に避難訓練があります。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	2	・担任から事前に教えて頂いているので、それに配慮しています。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	1	・お盆を別にしたり、給食室と職員が書類も使い、直接やりとりする工夫を感ずります。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
常 時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2	・玄関ドアの無施錠、園庭門扉も乗り越え可能なため、防犯対策不足	もの投げや乗り越え防止のための対策（ネットか柵の対応）を検討し進めている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	1	・ビデオを観て感想を記入する事により、より虐待防止の必要性を感じました。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター あすなる学園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4件	(回答数) 4件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者に対して、不安が少しでも軽減されるよう相談に応じています。	・訪問後、園(小学校)での様子報告、保護者が気になっていること、家庭での関わり等、相談に応じています。また当学園で開催している父母教室(勉強会)への参加を積極的に呼びかけています。	・訪問先、保護者、支援員と三者間で、さらに子どもへの理解をさらに深め、保護者支援を丁寧に行っていきます。
2	・訪問支援の対象児童は、当学園で行っている親子療育(カンガルー通園)に参加していただくことができます。	・保護者の希望等により、親子療育(カンガルー通園)に参加していただくことで、通園先とは違う子どもの姿を把握し、保護者、職員間で子どもの理解を深め、通園先での集団生活に活かせるようにしています。	・親子療育の充実を図ると共に、訪問支援に活かせるようにしていきます。
3	・訪問先施設で行われている保育、教育実践の良いところを見出し、保育者自身に気づけるような支援をしています。	・訪問先施設での保育、教育実践の意義を見出し、理解しながら、先生方とは共に考え合う姿勢に努めています。	・今後も、地域で子どもが心地よく過ごせるように、訪問先の先生と共に考え合っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・希望があった場合、対象児数の枠を大幅には増加できないこと。	・限られた人員のため、困難となっている。	・保護者の希望と訪問先との観察、話し合いを通して、必要性を判断し、開始時期や期間を検討していきます。また巡回相談、在宅支援訪問療育支援事業(観察訪問)等、別の支援方法を考えます。
2	・学齢期への支援スキルが不足していること。	・当施設自体が未就学児の支援を主力としているため。	・当面、主に小学1年生までの移行支援を行っていく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター あすなろ学園

公表日 令和7年3月26日

利用児童数 4名 令和7年2月25日

回収数 4名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			3		・訪問先で行われていることへの支援が 主なため、教材を持参することは少ない ものの、必要に応じて持参します
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3				1	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3				1	・保護者に参加いただける学びの場には、積極的に誘っています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					・家庭での困り事等も相談にのってくださるのでありがたいです。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				1	
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4					
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4					・訪問先の先生方とも連携して対応して いただいています。 ・今後も訪問先の先生方との連携に努めて いきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4				・訪問日、家で「あすなるのせんせいきたよ」等話してくれます。	・今後も、お子さんが地域で心地よく過ごすことができるように支援させていただきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4				・とても親身に対応していただきありがとうございます。	・今後も、訪問先の先生方との連携を図り、大変満足しております。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月26日

児童発達支援センターあすなろ学園

利用児童数

4名

令和7年2月25日

回収数 4名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4			・園児の状況、保護者の思い、保育士の思いの観点から具体的なお助言や提案をいただいています。	・今後も適切な対応ができるようにスキルアップに努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			・園では気づけなかったことや思いつかないことを教えていただいています。	・引き続き、スキルアップに努めていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4			・困った時や迷った時には、すぐに相談に応じてくださいます。	・今後も訪問先の先生方と共に考えあつていきたいです。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4			・ご助言いただいたことを実践することで効果が見られ、あまり効果が得られないことでもそのことについてさらに検証していただければ、一緒に考えていただけることがありがたいです。	・早急に効果を得ることは困難ですが、先生方と共に考えあうことを続けていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	4			・大変満足しています。	
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・園児、保護者、保育園の思いに寄り添い、専門的に立場や時には客観的な立場で助言いただき、感謝しています。いつもありがとうございます。 ・いつもありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。 ・保育士の視点だけでなく支援員からの新たな視点で子どもを見ていただけたことで、私たちだけでは気づけなかった子どもの良い所や支援方法等、様々なことを学ばせていただきました。また保護者支援としても本児のははにとっては心のよりどころとなり、1年を通してあすなろ学園、保育園と連携して支援することができたと思います。ありがとうございます。 					<ul style="list-style-type: none"> ・今後も訪問支援員のスキルアップに努めつつ、現場（訪問先）の先生方と共に、子どもの捉え方、かかわりについて共に考えあう機会になればと考えております。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター あすなろ学園					公表日	令和7年3月26日
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 運 営 ・ 備 	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		2				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2					
	5	従業員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1		1		・今年度より、第三者による外部評価を実施 していきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2					
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。		2				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。		2			・訪問職員は基本的に一人のため現場での役 割分担はないことが多い。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	1				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2					
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2						
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2						
関 係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。			2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	1				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
保 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		2		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1		1	・保護者の学びの場としての父母教室への参加を呼びかけている。今後もお誘いできる場があれば積極的に参加を呼びかけていく。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		2		・通園先での支援のため、保護者同士が交流する機軸は作っていない。保護者の希望により検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
非 常 時 等 の	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
対 応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2				